様式第2号(第10条関係)

会 議 結 果 の お 知 ら せ

1　開催した会議の名称　　第３回佐伯市総合計画生活基盤・環境市民会議

2　開催日時　　令和４年11月21日（月）19:00～20:15

3　開催場所　　佐伯市役所　本庁舎　５階　庁議室

4　出席者

委　員：芦刈明美、安部秀昭、河村雄太、志賀智昭、戸髙雅史、戸髙達文、仲野友美、平野憲司、御手洗麻衣、森﨑忠良、山口清一郎、渡邊早苗

オブザーバー：大分県佐伯土木事務所　次長兼企画調査課長　奈良崇史
認定NPO法人地域環境ネットワーク　代表理事　三浦逸朗

事務局：政策企画課　課長　末永健二、総括主幹　田村英朝、清田甲生

5　公開、非公開の別　　公開

6　傍聴人数　　なし

7　議題及び結果

(1) 議題　第２次佐伯市総合計画後期基本計画（案）について

(2) 結果　事前配布資料により、事務局が資料説明をした後、質疑応答を行った。

8　会議の資料名一覧

(1) 第２次佐伯市総合計画後期基本計画（案）

9　問い合わせ先

担当課　総合政策部　政策企画課　政策企画係

電話番号22-4104　内線563

令和４年度　第３回　佐伯市総合計画生活基盤・環境市民会議結果について

日　時　　令和４年 11 月 21 日（月）　　19：00～20：15
場　所　　本庁舎５階　庁議室

出席者　　【委員】
芦刈明美、安部秀昭、河村雄太、志賀智昭、戸髙雅史、戸髙達文、仲野友美、平野憲司、御手洗麻衣、森﨑忠良、山口清一郎、渡邊早苗
【オブザーバー】
大分県佐伯土木事務所　次長兼企画調査課長　奈良崇史
認定 NPO 法人地域環境ネットワーク　代表理事　三浦逸朗
【事務局】
政策企画課　末永課長、田村総括主幹、清田
総合計画本部会議検討部会員
欠　席　　【オブザーバー】
国土交通省九州地方整備局佐伯河川国道事務所　工務課長　栗田耕一郎
傍聴者　　なし

１　会長挨拶
平野会長が挨拶を述べた。

２　議事
平野会長が議長となり、議事を進行した。
（１）後期基本計画案に対する意見について
≪主な質疑応答≫
政策１　豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生
施策１　自然環境の保全
≪目標指標≫
【山口委員】
木を伐採、造林して若返らせることは良いが、災害が激甚化する中で三重県の熊野では土砂崩れが起き、河川沿いの森林伐採を規制している。保育施業を行う際にも河川管理をしなければならないと思う。
【林業課　佐保課長】
今まで以上に取り組んでいきたい。
【平野会長】
施策の中で個別の計画名が削除されているが、理由は。
【事務局】

総合計画の性質上、最上位計画なので個別計画の名称は削除している。計画に基づく取組を実施しないことではない。

【平野会長】

前回、特に都市部の小学生に係る意見があったが、その反映がないようだが。

【戸髙委員】

主な取組エ（エ）「～市内外へ向けたイベントの開催」に都市部の小中学校が含まれると認識している。

【エコパーク推進室　阿南局長】

当該部分に含んでいる。

施策２　快適な生活環境の確立

【主な意見なし】

施策３　住宅環境の整備

【志賀委員】

修正箇所について、「所有者管理意識の希薄化によるものや、所有者ごとに様々な要因があります」という表現のほうがよいのでは。

【コミュニティ創生課　安藤課長】

その旨修正したい。

施策４　公園緑地の整備

【主な意見なし】

施策５　景観の形成

【主な意見なし】

施策６　災害に強いまち（人）づくり

【仲野委員】

ハザードマップを見直す考えはあるか。

【防災危機管理課　浅倉課長】

津波ハザードマップについては、今年度県が警戒区域を見直す。それを踏まえて市でも作成する。

市民にうまく伝わる施策をお願いしたい。

政策２　暮らしと産業を支える生活基盤の創生

施策１　水道の整備

【主な意見なし】

施策２　下水道の整備

【山口委員】

瀬戸内法では、下水道を利用し人工的に栄養塩を増やす取組が実施されている。科学的な見地から普及率等を見るなど、海を育てるための栄養塩を考えてもよいのでは。

【下水道課　清家課長】

本市の終末処理場の排水は、基準値内に処理して中江川に放流している。

施策３　道路・情報インフラの整備

【山口委員】

ケーブルテレビの光化について、情報量の拡大とともに技術も進歩する。それに対して、設備投資すれば結局、行政の財政を圧迫していく。ある程度のところで民間活用をするべきではないか。

【情報推進課　長沢課長】

今後も情報量が拡大すれば光の送受信機を更新していかなければならない。

施策４　生活交通体系の構築

【主な意見なし】

施策５　中心市街地の活性化

【主な意見なし】

３　その他

特になし